

氏名	大見 広規 (オオミ ヒロキ)
所属	名寄市立大学保健福祉学部栄養学科
職名	教授
研究室連絡先	電話 01654-2-4194 (代表)、01654-2-4199 内線 1312 (直通) FAX 01654-3-3354 (事務局) E-mail hiohmi@nayoro.ac.jp
ホームページ URL	
学歴	大阪大学理学部物理学科卒業 1978 年、旭川医科大学医学部医学科卒業 1985 年
職歴	1985 年 6 月～1986 年 3 月 旭川医科大学附属病院小児科研修医 1986 年 4 月～1987 年 7 月 旭川厚生病院小児科医師 1987 年 8 月～1990 年 6 月 旭川医科大学薬理学講座助手 1990 年 7 月～1993 年 3 月 旭川医科大学附属病院小児科医員 1993 年 4 月～1995 年 3 月 北海道北見保健所医師 1995 年 4 月～2000 年 3 月 北海道中標津(-97)、名寄(-99)、江別保健所長 2000 年 4 月～2002 年 3 月 北海道保健福祉部保健予防課医療参事 2002 年 4 月～2005 年 3 月 北海道上川保健所長 兼 北海道旭川高等看護学院長 2005 年 4 月～2007 年 3 月 市立名寄短期大学生活科学科教授 2006 年 4 月～現在 名寄市立大学保健福祉学部栄養学科教授
学位	博士 (医学) 旭川医科大学 : 1992 年
免許・資格	医師、小児科専門医 (日本小児科学会)、子どもの心相談医 (日本小児科医会)
研究分野	健康科学 (母子保健、喫煙対策、青年期の健康管理)
現在の研究課題	死産と低出生体重児の性比に関する疫学的研究、胎内環境および乳幼児期の成長が成人後の心血管疾患リスクにおよぼす影響に関する疫学的研究、青年期の健康管理と健康教育に関する研究
主な担当科目	健康管理論、薬理学、小児保健 I
研究・教育業績	<p>◆論文 (原著・筆頭著者のものから紹介)</p> <p>●母子保健関連</p> <p>小児期肥満の縦断的調査—北海道旭川市における幼児期と学童期の肥満度推移—. 小児保健研究 1995.54:740-6.</p> <p>Reduced ratio of male to female ratio in Japan. Int J Epidemiol 1999.28:597.</p> <p>3 歳児の肥満度とう歯数とおやつの習慣の関係. 小児保健研究 1999.58:383-9.</p> <p>出生から 3 歳までの肥満度の推移. 小児保健研究 1999.58:534-40.</p> <p>全国都道府県における 1970 年から 1995 年までの男子出生割合の変化. 厚生 の指標 2000.47:27-9.</p> <p>Recent trend of increase in proportion of low birthweight infants in Japan. Int J Epidemiol 2001.306:1269-71.</p> <p>保育所における腸管出血性大腸菌 (EHEC) 感染症対策と保育士に対する感染症予防に関する教育. 小児保健研究 2001.60:531-7.</p> <p>Post-traumatic stress disorder in pre-school aged children after a gas explosion. Eur J Pediatr 2002.161:643-8.</p> <p>対象者に届く風疹ワクチンキャンペーンの必要性—高校生の風疹ワクチンについての意識調査から. 小児保健研究 2003.62:592-5.</p> <p>簡便で有効な麻疹ワクチン接種率の把握. 臨床小児医学 2003.50:151-6.</p> <p>北海道におけるアトピー性疾患に関する疫学調査. 小児保健研究 2004.63:412-20.</p> <p>The male/female ratio of spontaneous fetal deaths and low birthweight in Japan. Pediatrics International 2008.50: 262-3.</p> <p>都道府県別, 地方区分別にみた出生性比, 自然死産性比, 低出生体重児性比の年次推移の関連. 厚生 の指標 2009.56:13-8.</p> <p>●母子保健、喫煙対策関連</p> <p>Effects of smoking on infants' health: survey at rural town in northern Japan. Proceedings of the 7th Asian congress of agricultural medicine and rural health 1996.248-53.</p>

	<p>両親の喫煙が乳幼児の健康におよぼす影響:北海道の地方都市における調査. 名寄市病誌 1998.6:36-9.</p> <p>中学生への喫煙防止教育と喫煙に対する態度および信念の変化. 公衆衛生 1999.63:580-4.</p> <p>ニコチンガムを用いた禁煙サポート教室. 名寄市病誌 1999.7:12-5.</p> <p>The centenary of the enactment of the law for prohibiting minors from smoking in Japan. Tob Control 2000.9:258.</p> <p>Fetal growth and the timing of exposure to maternal smoking. Pediatrics International 2002.44:55-9.</p> <p>小児科医による未成年者への禁煙指導—医師の意向と学校の期待. 小児保健研究 2004.63:324-331.</p> <p>保健所による教育的介入が高校生の喫煙行動, 意識に及ぼす効果. 小児保健研究 2004.63:570-6.</p> <p>●青年期の健康管理関連およびその他の健康管理関連</p> <p>平成 19 年度の大学における麻疹予防対策—電子メール調査の結果から—. CAMPUS HEALTH 2009.46:149-54.</p> <p>湿潤療法についての学生・教職員の意識調査. CAMPUS HEALTH 2009.46:155-60.</p> <p>平成 19 年度の大学における麻疹予防対策—電子メール調査の結果から—. CAMPUS HEALTH. 2009; 46: 149-154.</p> <p>湿潤療法についての学生・教職員の意識調査. CAMPUS HEALTH. 2009; 46: 155-160.</p> <p>市民,学生の新種インフルエンザ対策についての意識調査—インターネット調査と比較して—. 北海道公衆衛生学雑誌 2009;23: 80-5.</p> <p>入学生に対する麻疹・風疹定期予防接種(第4期)証明書提出要請の効果と課題. CAMPUS HEALTH. 2010; 47: 162-167.</p> <p>◆著書 (分担執筆)</p> <p>兼元敏隆,南部春生,・・・大見広規ほか 13 名共著. 乳幼児健康診査マニュアル第2版. 分担課題: 身体計測とその評価 (p7-25). 北海道保健福祉部保健予防課 1999.</p> <p>奥野晃正,藤枝憲二,伊藤善也,・・・大見広規ほか 36 名共著. 症状と病気 子どもの気がかり事典. 分担課題: 赤ちゃんが受ける検査スクリーニングと健診 (p196-200). 永岡書店 2001.</p> <p>大見広規(編集委員長),加倉雅代,・・・羽田克巳ほか 18 名共著. 母子保健マニュアル—児童虐待予防編—(乳幼児健康診査マニュアル別冊). 分担課題: エジンバラ産後うつ病調査票 (p43-44). 北海道保健福祉部子ども未来づくり推進室 2004.</p>
<p>学会活動</p>	<p>日本小児科学会 (1985 年～現在)、日本小児科医会 (2000 年～現在) 日本小児保健協会 (1993 年～現在)、日本小児感染症学会 (2001 年～現在) 日本公衆衛生学会 (1993 年～現在: 評議員 1999～2008 年) 北海道公衆衛生学会 (1993 年～現在: 評議員 1995 年～現在: 編集委員 2002 年～現在)</p>
<p>社会活動</p>	<p>公衆衛生行政従事: 保健所長等 (1993 年～2005 年) 日本禁煙推進医師歯科医師連盟 (1996 年～現在: 北海道支部幹事 1997 年～2009 年)</p>
<p>受賞</p>	<p>北海道小児保健研究会・永井賞 (2006)</p>
<p>コメント</p>	<p>母子保健関連の課題についていろいろな調査を行ってきました。最近では人口動態統計を用い、新生児の性別や体格に関するデータから、わが国における胎内環境変化を推測する調査を行ってきました。胎内環境や乳幼児期の成長が成人後の慢性疾患(心血管疾患等)を予測する指標とどのように関連するかについて調査しています。</p> <p>また、本学保健福祉センターを担当していますので、青年期の健康管理と健康教育にも取り組んでいます。</p>